33 01 04 01 02 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月17日（月）

事務事業	予防接種事業	担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	3346
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別名 大項目	200001 健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）	根拠法令個別計画等	予防接種法 深谷市行政措置予防接種実施要綱				
中項目	200002 健やかで元気に暮らせるまちづくり						
小項目	200001 健康づくりの推進						

事業概要	本事業は予防接種法のＡ類疾病（ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、麻疹、風疹、水痘、日本脳炎、結核、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん、Ｂ型肝炎、ロタウイルス）・Ｂ類疾病（高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌）及び深谷市行政措置予防接種実施要綱に定めた年齢の市民を対象に、接種機会の安定的確保、高い接種率の維持を目指すものである。令和２・３年度は予防接種法に基づく新型コロナ臨時予防接種を実施。
目的 ※何のために	Ａ類疾病の発生及び蔓延予防、Ｂ類疾病の個人の発病また重症化防止のため。
対象 ※誰・何を対象に	・予防接種法または深谷市行政措置予防接種実施要綱に定められた年齢の市民
手段 ※どのように	・委託医療機関での個別接種・臨時予防接種は集団接種、基本型医療機関で実施。
成果 ※何を求めるか	Ａ類疾病については予防接種の接種機会を安定的に確保することにより、高い接種率を確保することができる。Ｂ類疾病については予防接種の機会を安定的に提供できる。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	04 衛生費	01 保健衛生費	02 予防接種費	予防接種事業	438,139,570
	一般会計	04 衛生費	01 保健衛生費	02 予防接種費	新型コロナウイルスワクチン臨時接種事業	23,613,512
		00	00	00		0
		00	00	00		0
		00	00	00		0

本事業の主な業務	
・ 個別予防接種（Ａ類疾病）	・
・ 個別予防接種（Ｂ類疾病）	・
・ 行政措置予防接種（高齢者肺炎球菌）：市単独	・
・ 予防接種補助金交付（委託契約医療機関外での接種）	・
・ 臨時予防接種事業（新型コロナワクチン）導入・実施	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			・高齢者肺炎球菌及び行政措置高齢者肺炎球菌予防接種制度の継続 ・第５期風疹予防接種の導入	・ロタワクチンの定期接種導入 ・臨死予防接種（新型コロナ）導入準備	・臨時予防接種（新型コロナ）	・臨時予防接種継続 （新型コロナ追加接種等） ・風しん追加的対策継続
事業費 予算（現額）	378,153,000	373,157,000	424,173,000	513,025,000	1,216,282,000	926,787,000
決算額	367,111,736	361,507,692	359,394,326	461,753,082	0	0
財源内訳 国支出金	0	0	10,679,000	58,973,512	823,099,000	514,926,000
県支出金	0	0	11,000	29,017,000	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
他特定財源	0	0	730	0	0	0
一般財源	367,111,736	361,507,692	348,703,596	373,762,570	0	411,861,000
人件費 従事職員数（人）	1.58	1.38	1.38	1.68	5.43	5.43
人件費相当試算※１	12,290,820	10,739,160	11,184,900	13,668,480	44,178,480	44,178,480
	0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）	379,402,556	372,246,852	370,579,226	475,421,562	867,277,480	970,965,480

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	接種勧奨回数	目標値	回	10.00	20.00	20.00	21.00	21.00	22.00	□
			実績値		19.00	20.00	21.00	22.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		接種状況を見ながら啓発を図る。							
■	成果指標１	麻しん風しん（第１期）接種率	目標値	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	□
			実績値		98.80	99.70	94.30	99.90	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		国の麻しん排除計画における接種率を目標値として設定							
		接種率									
□	成果指標２	高齢者インフルエンザ接種率	目標値	%	0.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	□
			実績値		55.30	54.00	57.80	71.40	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		過去の実績から目標値を設定							
		接種率									
■	成果指標３	１歳～就学前までの麻しん罹患率	目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		国の麻しん排除計画における目標値と同様							
		罹患率（保健所：感染症発症動向									
□	成果指標４	１歳～就学前までの風しん罹患率	目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		国の麻しん排除計画における目標値に連動して設定							
		罹患率（保健所：感染症発症動向									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 生後１か月での予診票冊子の個別送付、新生児訪問・乳幼児健診等の母子保健事業での接種確認と啓発、学校保健と連携した児童・生徒への周知を実施。本年度は新型コロナ感染症との同時流行を防ぐため、高齢者インフルエンザ予防接種の周知を強化した。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 昨年度は新型コロナ感染拡大の影響を受けたが、今年度は目標とする接種率が達成できた。また、高齢者インフルエンザ予防接種は、今年度、県の補助事業を活用し、自己負担を無料としたことから接種率があがっている。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	-	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
		評価者　健康推進係長　鳥羽久美子

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	・新型コロナ感染症の影響が大きい状況であるが、予防接種の重要性の啓発、接種勧奨の強化により接種率を向上させる。 ・新たに定期接種化されるロタワクチンの円滑な導入。 ・風疹の追加的対策は令和３年度までの時限的措置であることから、対象者のうち特に妊婦の夫であるかたへの勧奨を強化するなど、勧奨方法を検討していく。
達成状況 及び その効果	新型コロナ感染拡大の影響はあるものの、予防接種の重要性の再認識等により接種率は回復。特に高齢者インフルエンザは高い接種率となった。新たに定期接種化されたロタワクチンについては、すでに任意接種として実施されていたワクチンであるが、地区医師会の協力のもと１０月より円滑に導入することができた。風しんの追加的対策は各種機会を活用し、妊婦の夫に周知・啓発を図った。受検者数は前年度より増加しているが、令和３年度の終期に向けて啓発を継続する必要がある。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	予防接種事業	担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	3346

- □ ① 現状のまま継続
- □ ② 見直して継続
- ■ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
- □ ④ 目的達成による終了
- □ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

定期及び行政措置予防接種については、感染症予防の観点から今後も接種率の維持・向上を目指し、周知・啓発を図っていく必要がある。
令和３年度は新型コロナウイルスワクチン臨時接種の安全・円滑な実施が最優先課題であり、市全体で体制を整備し接種に取り組んでいく。

評価者	保健センター所長　清水良保

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

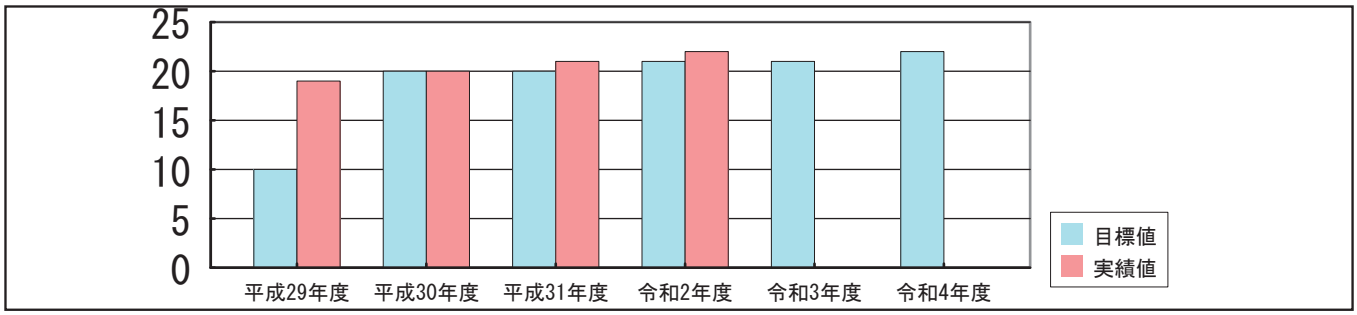
改善・改革案	・新型コロナウイルスワクチン臨時接種の安全・円滑な実施。 ・新型コロナ感染症の感染拡大のなかであるが、引き続き予防接種の重要性の啓発、接種勧奨の強化により、接種率の維持・向上を図る。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

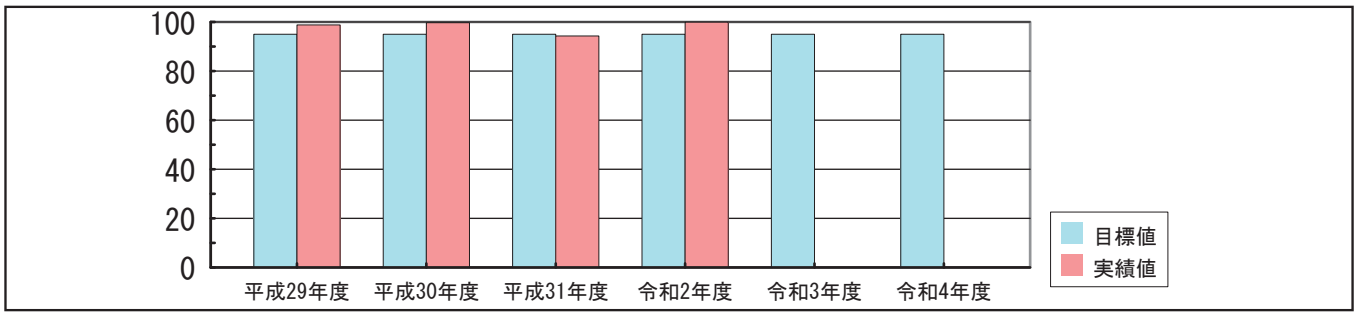
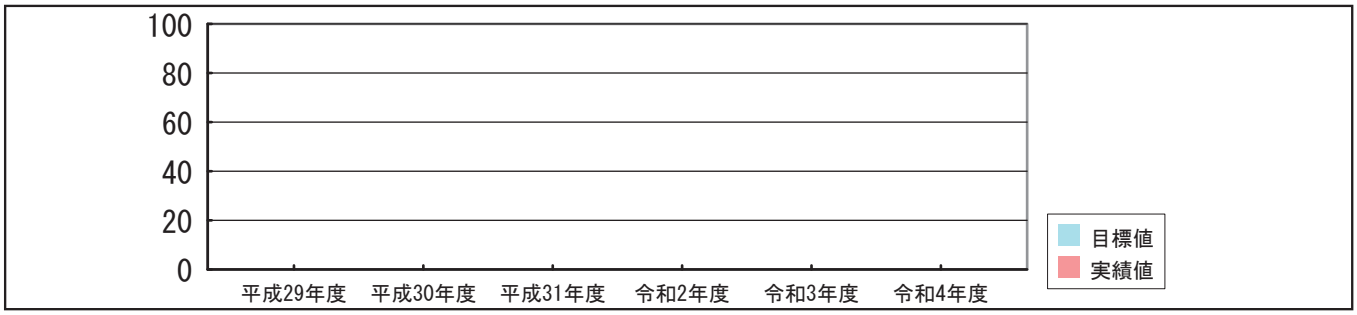
今後の課題	国の動向に注視しながら、新型コロナウイルスワクチン臨時接種を安全・円滑に実施する。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	接種勧奨回数



区分	成果指標１	指標名	麻しん風しん（第１期）接種率



区分	成果指標３	指標名	１歳～就学前までの麻しん罹患率